

汚泥肥料使い方 Q&A

Q どのように使用するのでしょうか？

⇒ 植え付け前などに、土に混ぜて、1～2週間なじませてから使ってください。
ゆっくり効いて土を良くしてくれるのが特徴です。

Q どんな作物に、どのくらいの量を使えばいいですか？

⇒ 野菜，果樹，花きなど幅広く利用できます。
作物や土壌の状態にもよりますが、200～600g/m²を目安に施用します。

【例】（家庭向け）

・プランター（65cm）	・・・	100g
・ガーデニング1m ²	・・・	200g
・家庭菜園1m ²	・・・	500g
・芝生1m ²	・・・	50g

【例】（1,000m²（10a，1反）あたり）

・水稲	・・・	200～400kg
・野菜，果樹，花き	・・・	300～1,000kg
・芝	・・・	50～100kg

Q 市販の肥料と比べて、効果はどうですか？

⇒ 化学肥料のような即効性はありませんが、有機質を多く含むことから、土の保水性や通気性を高める効果があり、土壌改良効果が期待できます。

Q 使用期限はありますか？

⇒ 特に期限はありません。6か月～1年を推奨します。
理由は、以下が挙げられます。

- ・時間が経つと養分（特に窒素）が減少する。
- ・水分や微生物の状態が変化する等の可能性がある。

Q 素手で触っても大丈夫ですか？

⇒ 高温発酵や乾燥処理で病原菌が大幅に減少していることから、手で触っても問題ありません。

なお、使用後は、通常の土等に触った後と同様に、手洗いをお願いします。

Q 保管方法は、どのようですか？

⇒ 直射日光や水分を避け、通気性の良い場所で保管してください。

Q 化学肥料と混ぜて使用しても良いですか？

⇒ 汚泥肥料と化学肥料とを併用しても問題ありません。

目的に応じて組み合わせて使用することで、より効果的に使えます。

Q 汚泥肥料は、安全ですか？ 有害物質（重金属など）は、どのようですか？

⇒ 肥料法（肥料の品質の確保等に関する法律）に基づき、必要な届出・基準※を満たした製品です。

※ 基準6項目・・・ひ素，鉛，カドミウム，水銀，ニッケル，クロム

Q 下水汚泥とは何ですか？

⇒ 家庭などから出た汚水は、下水管を通過して下水処理場へと送られます。

下水処理場では、微生物を繁殖させ、水に溶けている栄養分（有機物）を微生物に食べさせて、きれいな水だけを流しています。

その際に、沈殿分離したものが、下水汚泥です。

Q 汚泥肥料に白いモヤモヤしたものが生えているのですが、問題ありませんか？

⇒ 発酵により作った肥料で、微生物が活発に動いている証拠です。

これは、有機物を分解して作物に良質な栄養を供給する微生物です。